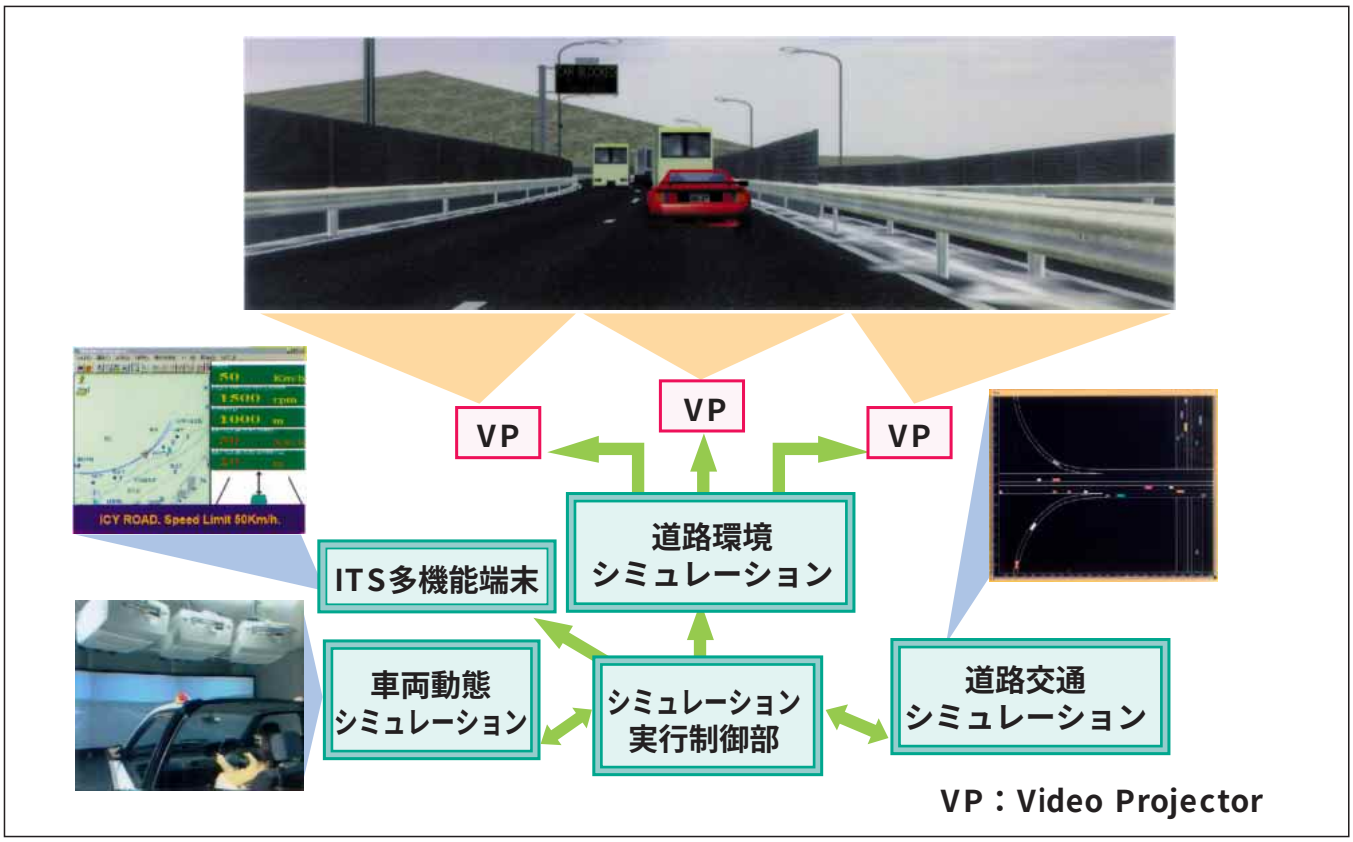
ITS評価シミュレータ

熊沢宏之*　中堀一郎***
後藤幸夫**　大石將之+
伊川雅彦**

要　旨

Intelligent Transport Systems(高度道路交通システム，以下“ITS”という。)は，最先端の情報通信技術の活用により，人と道路と車との一体的なシステムを構築し，交通の円滑化，安全性向上，効率化，環境への負荷軽減などの実現を目指したシステムである。ITSは，社会インフラとなるべき極めて大規模なシステムであり，システム導入に先立って，十分なシステム設計や評価を行うことが必要である。

我々は，このような大規模システムの評価検証，設計ツールとして計算機シミュレーションが必す(須)であると考え，道路・交通現象の様々な状況を考慮して各種ITSアプリケーションの安全性・効率性などを評価できるITS評価シミュレータの開発を進めている。また，ITSのような社会システムでは，その実用化配備に当たって多くの関係者のコンセンサスを得ることが必要であり，そのための共通認識を得る“Common Language”としてのシミュレーションも極めて重要である。このようにITS評価シミュレータは，ITSの研究開発から普及に至る各段階で，設計ツールとして，また，産官学，道路管理者，道路利用者など多数の関係者による評価ツール，共通認識を得るためのツールとしての利用を想定している。



ITS評価シミュレータ

ITS評価シミュレータは，道路交通シミュレーション，車両動態シミュレーション，道路環境シミュレーションと情報提供装置としてのITS多機能端末が並列動作するリアルタイムシミュレータである。このシミュレータは，このリアルタイム性によってシミュレーションループ内への人間の介在が可能であり，ITSの研究開発から普及に至る各段階で，設計ツールや広範な関係者による共通認識ツールとしての利用が想定される。

 *産業システム研究所(工博)　**同研究所　***開発本部(工博)　+ITS推進本部　